

22夏季手当第3回交渉！！

会社の考え「2020年の年末手当をも…」

中央本部は11月10日、『第3回交渉』を行いました。

会社側の現段階での考え方が、明らかになりました。

- ① ウクライナ事情な、急激な円高などの外的要因により、社会情勢が不安定になった今、どうなるかわからない。
- ② 自然災害等による収入減により、本年度貨物会社の上期決算での経常利益は東日本大震災のときの中間決算より悪い予想である。
- ③ 物価上昇は理解している。年末手当の「生活給」の性質について否定はしない。しかし、原則としては上期の実績ベースの考えである。
- ④
- ⑤ 要員不足の中で社員の奮闘による各種対応には感謝している。しかし、会社の体力の範囲で議論していく必要がある。

以上の会社の考えを述べたうえで、

会社「現時点の考え方として、直近の中間決算に近い状況だった2020年の年末手当時の状況より厳しい。」と現時点での考え方を示しました。

ふざけるな！組合としては「コロナ禍での定時運行・災害対応や臨時列車の運行など、現場では会社の考え以上に苦勞してきた。会社が立てた無理のある計画が「やっぱり未達」だからと人件費を抑制するのは到底許されない。それが経営責任である。職場の姿をよく見ろ！」と返しました。

会社は、「期末手当は生活給である事は否定しない」としながらも、「2022年の冬より厳しい」ということは、夏の「昨冬よりも出せない」ということです。対前年をクリアしている以上、最低でも昨年冬がスタートラインだ！会社はまたしても社員の生活に「我慢」を強要するのか！

明日15日（火）は全国統一集会！職場集會に結集しよう！

青年部の皆さん、このような無責任な対応を許すことは出来ません。1人でも多く会社経営陣に組合員の声を届けるために、集会・常駐へ参集し、怒りの声をFAXにこめて、役員に託してください。